

対象クラス	3年 生活文化科(食文化・福祉看護・保育類型選択者)	単位数	3
使用教科書	ファッション造形基礎(実教出版)		
使用副教材	なし		

「ファッション造形基礎」はこんな科目です。

被服構成の基礎、構成技法、被服材料の種類や特徴などに関する知識と技術を習得し、被服を創造的に製作する基礎的な能力と態度を身に付けていくことを目指した科目です。

科目の到達目標（目標とする検定等）

- ・和服についての知識・技術を身に付け、計画に従って能率的に製作を進める態度を育てます。
- ・和裁に興味・関心をもち、平面構成について理解するとともに、単衣長着の着付けを理解し、着装することができる能力を養います。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・和裁について興味を持ち積極的に取り組んでいるか。 ・ゆかた作りに意欲的に取り組んでいるか。 	授業態度 提出物の提出状況
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・手早く、美しく仕上げるための手だてについて具体的かつ、総合的に考えようとしているか。 ・製作したゆかたを用いて、帯・小物などとのコーディネートを考えて表現できたか。 	授業態度 定期考査
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・作品製作の技法を能率的に活用し、技術を習得することができたか。 ・基本的な着付けを理解して、着装することができたか。 	製作物 着装の様子
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の基本的な知識や製作上の特徴と注意点について理解しているか。 	定期考査 レポート

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前 期 中 間	1章 衣服の構成 4章 和服の製作 【前期中間考査】	オリエンテーション 1 立体構成衣服と平面構成衣服 1 製作の基礎 1. 和服とは 2. 和服の素材と用具 3. 基本的な技法	<ul style="list-style-type: none"> ・和服における平面構成の特徴や歴史的変容について理解する。 ・和服の材料と用具について理解する。 ・三つ折りぐけ、耳ぐけ、本ぐけ等、用途に合わせた基本的技法について習得する。
前 期 期 末	【前期期末考査】	2 長着の製作 (1) 女物単衣長着の形と各部の名称 (2) 材料の選び方 (3) 寸法の決め方 (4) 裁断 (5) しるしつけ	<ul style="list-style-type: none"> ・女物単衣長着の形と各部の名称を理解する。 ・材料の選び方を理解する。 ・寸法の決め方を理解し、正しく採寸する。 ・柄合せの方法や見積もり、裁ち方を理解して裁断する。 ・そで、身ごろ、おくみ、えり・かけえりのしるしつけの仕方を理解し、正しくしるしつけができる。
後 期 中 間	【後期中間考査】	(6) 縫製 ・背縫い ・くりこし揚げ ・肩当てつけ・おくみつけ ・えりつけ ・そで縫い ・脇縫い ・すそくけ	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の手縫いの方法、縫い代始末の方法を理解する。 ・くりこし揚げや肩当て、きせ、えり芯等の必要性和用途について理解する。 ・そで丸みの始末の仕方を習得する。 ・つま先の額縁の仕方を習得する。
後 期 期 末	和裁の技術を活かして 【学年末考査】	・そでつけ ・仕上げ 3 和装小物の製作 4 着装 ・直線縫いの応用(家庭クラブ活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に応じた仕上げやたたみ方を習得する。 ・余り布を利用し、和装に合う小物を製作する。 ・長着の着付け方を理解し、半幅帯を用いて美しく着付ける。 ・和裁の技術を活かし枕カバーを製作し、技術の定着をはかる。

